

2月定例会の一般質問用語解説

一般質問(13～22ページ)で赤表記した用語を解説します。

1 法定外目的税

→p15

国が定めた税目以外に、市が独自に設ける税金。用途は条例で定め、目的は限定され、導入については総務大臣の同意が必要。

2 ペDESTリアンデッキ

→p16

駅前などに設置され、一般的に建物接続しており、広場機能を併せ持つ高架の歩行者専用通路。

3 部活動統括コーディネーター

→p18

学校の部活動全体を横断的にまとめ、運営を調整する役割の人。

4 流域変更

→p19

河川の流れる先を人工的に変えること。

5 スキーム

→p19

構成、仕組み、図式、計画。

6 AIオンデマンドタクシー

→p20

一般的に、特定地域内での移動を目的として24時間いつでも予約できる乗合型タクシー。

7 サーキュラーエコノミー

→p20

製品や素材、廃棄物も廃棄することなく、循環させることで資源利用の最大化と環境負荷を最小化すること。

8 災害ボランティアコーディネーター

→p21

災害時、ボランティアの受付、マッチング、安全管理、関係機関との調整役を担う人。被災者に寄り添いながらチームで活動する。

お知らせ!

今月号から議員氏名の右側に、二次元バーコードを設置しました

一般質問が視聴できます。ぜひご利用ください。



なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

保健福祉
教育



新富士市長誕生！これからの連携は

問 新富士市長誕生を契機とした関係構築について、どのように考えているのか。

市長 富士地区全体の活性化に向けて、協力すべき分野においては積極的に連携し、お互いの市民にとってより良い生活環境の実現につながるよう、良好な関係を築きたい。

問 富士宮市立病院と富士市立中央病院という視点にとどまらず、地域医療を守るという観点から、一步踏み込んだ連携を生み出していく責任が自治体運営にはあると考えるが、いかがか。

部長 広域の医療連携はかなりの数の会議を続けてきた。さらに密接な連携を強化するには、高齢者介護と医療の連携、在宅医療等、市レベルの政策をしっかりと積み上げた上で広域の会議に発展させていかないと。これから市レベルの

多機関、多職種の積み上げた政策立案を基に広域連携にもっていくことが重要。

どうなってるの？部活動の地域移行・地域展開

問 進捗状況と今後のタイムスケジュールは。

教育長 令和8年度からは7年度に委託している3種目を含め、運動を5団体、文化芸術活動を1団体に業務委託する準備を進めている。13年度を目標に、現在の教員指導から地域クラブ活動による指導へ段階的な移行を想定している。

問 情報発信に努め、ロードマップをきちんと示し、地域で安心して部活動を続けられるよう説明すべきではないか。

教育長 8年度には広報活動の業務をコーディネーターが支援する予定。部活動に関わる様々な立場の方々が安心できるように、積極的な情報発信に努める。

